

# JPP-NET版BLASTLによる葉いもち病勢進展 予測精度向上のための結露時間推定方法の改良

福島県農業試験場病理昆虫部  
平成15年度福島県農業試験場試験成績概要

## 1 部門名

水稻－水稻－病虫害防除、コンピュータ利用  
分類コード 01－01－23630000

## 2 担当者

根本文宏

## 3 要旨

JPP-NET版BLASTAMと連動するBLASTLでは、葉いもち全般発生開始期の把握は可能であったが、その後の葉いもち病勢進展予測精度は必ずしも高くなかった。このため、葉いもち全般発生開始期以降の葉いもち病勢進展の予測精度が向上するように、結露時間推定プログラムを改良した。

- (1) JPP-NET版BLASTAMからBLASTLへの気象データ変換プログラムを改良し、イネの上位葉展開時の葉の濡れを推定できるようにした。
- (2) 改良したプログラムにより推定した気象データと、実際の葉の濡れ時間を結露計により実測した気象データを用いてBLASTLを実行した結果、異なる年次間でもほぼ同様の病勢進展傾向となった。
- (3) 改良したプログラムにより推定した気象データを用いた演算結果は、結露計による実測値を用いた場合より、病勢進展程度はやや低く予測されたが、葉いもちの上位葉進展期および発生量の傾向は十分把握できることから、JPP-NETで利用できると考えられた。

## 4 その他の資料等

なし